

平成9年度生まれ～平成19年度生まれのあなたとそのご家族へ

子宮頸がんワクチン打っていますか？

子宮頸がんワクチンの無料接種は 令和7年(2025年)3月末で終了です!!



少なくとも7月までに
接種開始しないと
無料期間内に終了
できないよ!

子宮頸がんとは

日本では毎年約11,000人が発症し、年間約3,000人もの人が命を落としています。20歳～40歳代の若い女性に多いがんで、ライフサイクルにもとても大きな影響を与えてしまいます。子宮頸がんの原因の多くはヒトパピローマウイルス(HPV)といわれています。子宮頸がんワクチンはそのヒトパピローマウイルスの感染を防ぐ効果の高いワクチンなのです。子宮頸がんの予防にはワクチン接種と併せてがん検診を受けることも大切です。

ヒトパピローマウイルス(HPV)とは

HPVは性交渉の経験のある女性のうち50%～80%は、HPVに感染していると推計されています。性交渉を経験する年頃になれば、男女を問わず、多くの人がHPVに感染します。そして、そのうち一部の女性が将来、子宮頸がんを発症することになります。また、男性においても肛門がんや陰茎がん等の原因ウイルスと言われています。

キャッチアップキャンペーンとは

平成9年度生まれ～平成19年度生まれの女性で、定期接種の対象年齢(小学校6年から高校1年相当)の間にHPVワクチンの接種を逃した方は現在、公費(無料)でワクチンを受けることが出来ます。ただし、2025年3月末で終了予定です。期間終了後に有料で接種すると約10万円(3回接種)がかかります!

HPVワクチンの安全性について

HPVワクチンについては、大規模な調査研究の結果、ワクチン接種後の多様な症状の発生頻度は接種した人と接種していない人との間で差がなかった(ワクチン接種と関係がない可能性が高い)と報告されています。



安全性に関する情報
(日本産婦人科学会)